



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年2月3日

上場会社名 株式会社中京医薬品 上場取引所 東
 コード番号 4558 URL http://www.chukyoyiyakuhin.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 正行
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 辻村 誠 TEL 0569-29-0202
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,154	6.1	218	△22.0	226	△20.7	134	△13.4
25年3月期第3四半期	4,859	△0.6	279	70.8	286	70.3	155	57.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	12.53	—
25年3月期第3四半期	15.30	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	5,540	2,053	37.1	250.47
25年3月期	5,188	2,775	53.5	249.99

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,053百万円 25年3月期 2,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
26年3月期	—	2.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,751	4.0	230	53.9	237	62.8	123	18.2	11.07

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	11,660,734株	25年3月期	11,660,734株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	3,464,082株	25年3月期	557,951株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	10,768,567株	25年3月期3Q	10,183,396株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、前期中においては復興需要や各種政策効果などにより、景気は緩やかながらも回復基調を辿りましたが、前期の後半にかけては、欧州の経済危機や新興国を中心とした海外経済の減速による輸出の減少、国内政策効果の一巡、個人消費の足踏みなどにより景気は弱めの動きとなりました。ただし、年末より新政権による財政、金融政策への期待から円安・株高の動きが強まり、一部に明るい兆しも見えてまいりました。

このような環境の中で、当社は「もっと健康、ずっと幸せ。」を企業スローガンとして定め、お客様が心身共に健康で幸せな社会生活を営むことに貢献し続けていくことを使命として捉え、より一層お客様に「健康」と「幸福」をお届けできる企業を目指すために邁進してまいりました。さらに、お客様本位の営業を徹底し営業効率の向上と販売費及び一般管理費の削減による財務基盤の強化にも取り組みました。

家庭医薬品等販売事業におきましては、効率的となった営業体制と強固な財務基盤を維持継続しつつ、中期経営計画に基づき利益を重視した新たな経営戦略を推進してまいりました。

またアクアマジック事業部で展開いたしております売水事業につきましては、これまでのTwo-Wayの拡大に加え、ボトルの回収が不要なOne-Way方式においても注力し、全国展開による営業エリア拡大と顧客数の増加など事業拡大に努めました。

その結果、当第3四半期累計期間における売上高は5,154百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は218百万円（前年同期比22.0%減）、経常利益は226百万円（前年同期比20.7%減）、また四半期純利益は134百万円（前年同期比13.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①家庭医薬品等販売事業（小売部門・卸売部門）におきましては、小売部門においては、一人当たりの生産性が向上し、品目別においてもドリンクや医療品等の販売が増加し前年同期比で増収となりました。卸売部門においては、前期下期より販売を開始し、大手量販店やドラッグストア等に幅広く投入されました「クイックシールド エアーマスク」に加え、新たに「クイックシールド ルーム」「クイックシールド ポケット」を開発し、商品のラインアップ向上に取り組みました。また成長戦略に向けて新規取引先の拡大や商品ブランド向上のための広告宣伝などの先行投資を積極的に取り組みました。その結果、売上高は4,731百万円（前期同期比5.6%増）、セグメント利益223百万円（前期同期比12.5%減）となりました。

②売水事業部門におきましては、昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長の波に乗り、早期に中核事業の1つとして確立することを目指しております。またOne-Way方式により営業エリアが拡大され小売部門の顧客への拡販も積極的に取り組みました。その結果、売上高は419百万円（前期同期比12.4%増）、セグメント損失4百万円（前期同期はセグメント利益24百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は3,309百万円となり、前事業年度末に比べ294百万円増加いたしました。これは主に商品及び製品の増加300百万円によるものであります。固定資産は2,230百万円となり、前事業年度末に比べ57百万円増加いたしました。これは主に土地の増加76百万円、投資その他の資産（その他）の減少17百万円によるものであります。

この結果、資産合計は5,540百万円となり、前事業年度末に比べ351百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は2,844百万円となり、前事業年度末に比べ941百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金の増加1,100百万円、賞与引当金の減少186百万円によるものであります。固定負債は642百万円となり、前事業年度末に比べ132百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加136百万円によるものであります。

この結果、負債合計3,486百万円となり、前事業年度末に比べ1,073百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は2,053百万円となり、前事業年度末に比べ722百万円減少いたしました。これは主に自己株式の増加802百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の53.5%から37.1%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年10月25日付けにて発表いたしました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

追加情報

役員退職慰労引当金

当社は、平成25年5月17日開催の取締役会において役員退職慰労引当金制度の廃止を決議し、平成25年6月21日開催の定時株主総会で取締役及び監査役に対する退職慰労制度廃止に伴う打ち切り支給について決議し、承認されました。

これに伴い、同定時株主総会終結の時までの期間に対応する役員退職慰労引当金の全額を取り崩し、打ち切り支給に伴う未払額234,590千円を固定負債の「長期未払金」に含めて表示しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,212,021	1,223,316
受取手形及び売掛金	767,247	790,902
商品及び製品	350,078	650,661
委託商品	426,253	417,444
仕掛品	128	107
原材料及び貯蔵品	33,648	49,367
その他	234,150	186,438
貸倒引当金	△7,876	△8,535
流動資産合計	3,015,653	3,309,703
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	445,094	444,288
土地	1,226,855	1,303,487
その他（純額）	80,644	68,636
有形固定資産合計	1,752,594	1,816,411
無形固定資産	50,788	51,609
投資その他の資産		
その他	384,153	366,486
貸倒引当金	△14,250	△4,196
投資その他の資産合計	369,902	362,290
固定資産合計	2,173,286	2,230,311
資産合計	5,188,939	5,540,015
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	583,165	686,759
短期借入金	380,000	1,480,000
1年内返済予定の長期借入金	39,996	60,014
未払法人税等	42,559	6,892
役員賞与引当金	8,704	—
役員退職慰労引当金	90,570	—
賞与引当金	268,000	81,500
返品引当金	12,305	5,711
その他	477,673	523,586
流動負債合計	1,902,973	2,844,464
固定負債		
長期借入金	78,766	215,414
退職給付引当金	127,721	132,337
役員退職慰労引当金	231,570	—
資産除去債務	4,408	4,443
長期未払金	—	234,590
その他	67,886	55,748
固定負債合計	510,352	642,533
負債合計	2,413,326	3,486,997

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	681,012	681,012
資本剰余金	424,177	424,177
利益剰余金	1,901,405	1,976,040
自己株式	△237,686	△1,040,064
株主資本合計	2,768,908	2,041,166
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,704	11,851
評価・換算差額等合計	6,704	11,851
純資産合計	2,775,613	2,053,017
負債純資産合計	5,188,939	5,540,015

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	4,859,976	5,154,098
売上原価	1,742,155	1,884,180
売上総利益	3,117,820	3,269,917
販売費及び一般管理費	2,838,147	3,051,825
営業利益	279,673	218,092
営業外収益		
受取利息	224	63
受取配当金	1,535	2,336
受取家賃	9,042	8,605
貸倒引当金戻入額	—	2,401
保険解約返戻金	2,031	—
その他	6,906	6,060
営業外収益合計	19,741	19,467
営業外費用		
支払利息	4,370	2,389
支払手数料	8,534	7,815
その他	134	398
営業外費用合計	13,039	10,603
経常利益	286,375	226,956
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7,451
特別利益合計	—	7,451
特別損失		
固定資産除売却損	—	279
減損損失	340	—
特別損失合計	340	279
税引前四半期純利益	286,035	234,128
法人税、住民税及び事業税	32,691	10,379
法人税等調整額	97,495	88,779
法人税等合計	130,186	99,158
四半期純利益	155,848	134,969

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年11月25日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,949,200株の取得を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が802,377千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が1,040,064千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高 外部顧客への売上高	3,532,355	949,020	373,266	4,854,642	5,334	4,859,976
計	3,532,355	949,020	373,266	4,854,642	5,334	4,859,976
セグメント利益又 は損失	213,691	41,156	24,826	279,673	—	279,673

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(主な減損損失)

「小売部門」セグメントにおいて、減損損失340千円を計上しております。

II 当第3四半期累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高 外部顧客への売上高	3,648,379	1,083,041	419,709	5,151,129	2,969	5,154,098
計	3,648,379	1,083,041	419,709	5,151,129	2,969	5,154,098
セグメント利益 又は損失(△)	275,484	△52,442	△4,950	218,092	—	218,092

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。